

新中部協同病院建設の進捗について

新中部協同病院の進捗状況についてご報告します。

二〇一七年八月現在の状況ですが、当初の予定では二〇一七年の六月より本体工事を着工し、二〇一八年十二月竣工予定でした。しかし、病院裏の吉原公園の代替計画の中で、沖縄県側の手続き申請確認が遅れており、本体工事の着工が出来ていない状況です。今の状況だと、二〇一九年六月の竣工となるため、計画より半年以上の遅れとなるスケジュールになって



います。

中部協同病院建設推進委員会では、二〇一九年四月を目標に現在沖縄市を窓口にして、沖縄県との交渉を進めている所です。遅れている理由としては、現在の吉原公園を移して、現公園を当院の敷地として使用する代替手続きの事例がなく、県としても慎重に対応しているとのことでした。今後九月一日に近隣住民への住民説明会（沖縄市主催）を予定しており、その後の公園整備工事や開



発許可申請についても早めに関工事が着工できるよう交渉して行きたいと考えています。現場では、解体工事も八月月上旬には終了しており、現在は土壌調査と実施設計の最終確認を行っています。各事業所や地域組合員の皆様にはご心配をおかけしていますが、一日でも早く新中部協同病院の完成を目指して取り組んでいきますので今後のご支援、お力添えをよろしくお願いいたします。

（中部協同病院 嘉数浩明）

睡眠時無呼吸症候群と治療について

睡眠中のいびきや無呼吸、日中の過度な眠気の代表的な原因に閉塞性睡眠時無呼吸障害（obstructive sleep apnea syndrome: OSAS）があります。これは、循環器疾患や脳血管障害を合併し、予後を悪くすることもあります。また、睡眠が分断されることで記憶障害や注意散漫、仕事の能率低下にもつながります。

当院では、まずOSASが疑わしいかどうか、ふるいにかけることができる簡易検査を五月より導入しました。

「睡眠中のいびきや無呼吸」、「日中の過度な眠気」の症状があり、検査を御希望の方は主治医にお尋ね下さい。

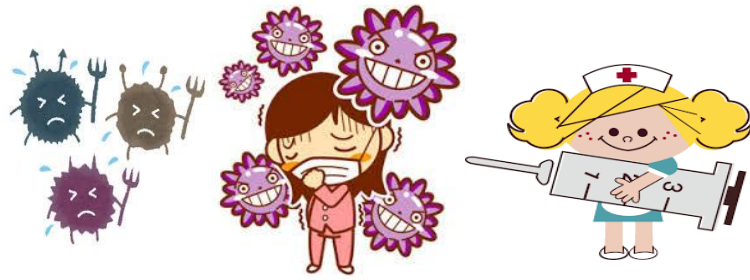
（内科 照屋 葵）



インフルエンザ予防対策

最近インフルエンザは流行時期が季節関係なく突然やってきます。インフルエンザにかからないよう予防が大切になってきます

- ①手洗い
- ②うがい
- ③マスク着用
- ④人ごみを避ける
- ⑤予防接種



当院予防接種受付は 10 月頃から始まります。効果は 4~5 か月です。

また、当院の採用しているインフルエンザの検査は感染の早期段階でより正確な診断ができ 8 時間で感染しているか知ることができます。一日待たず検査できるので感染拡大も防ぐ事ができます。

(透析室 新垣 幸恵)

摂食・嚥下障害とは

皆様も最近よくお聞きになられるかと思いますが、摂食・嚥下障害とはどういう障害かご存知でしょうか。これは口から食べることの障害となりますが、これには様々な要因があります。

- ・噛むことができなくなる。
- ・食べ物を上手く飲み込めなくなる。
- ・飲み込んだ後によく咳(むせ込み)がでるようになる。
- ・飲み込んだ食べ物が逆流してくるなど色々な障害があります。

これらの障害は脳梗塞、脳出血などの疾患や加齢による衰えなどによりみられるようになってきます。食事は生活の楽しみであり、生きていくうえで必要なものです。

最近食べているときによくつかえるようになった、咳が出るようになったなど異変を感じたら 1 度病院で相談しても良いかと思います。

(リハビリ室 和宇慶 美和子)

部署紹介 ～健診室～

中協健診室は、開設当初 2 名の職員で業務を行っており、年間 500~600 名前後の受診者数でしたが、10 年後の現在では、10 倍の約 5000 名の受診者数に到達しました。

また、受診者の増加に伴い、職員も 5 名と医事課職員担当 1 名の計 6 名に増えました。これも組合員の皆様方が積極的に当院で健診を受けて下さったり、口コミで広めて下さったりのおかげだと思います。

また、先生方や他部署の協力も大きく、たくさんの方の受診者の診察・検査を受け入れてもらい、職員皆に助けられながら進んでいくことができ、とても感謝しています。

中協健診室は、他の大きな健診機関と比べるとまだまだ至らない点が多いと思いますが、皆さんに支えられながらこれからも前進していきたいと思っています。

(健診室 松尾 綾子)

